



10月9日 秋祭り

総社宮

平成十七年十一月社報

宮司挨拶

露も霜となつて降り行く二十四節気の霜
 降の季節となり、昼夜の寒暖の差も厳しく
 なつてまいりましたが、氏子各位の皆様方
 に於かれましては年末に向けあわただしく
 ご活躍されておられる事と存じ上げます。
 のさて、この度の社報では私たちの暮らし
 の中の神々について少しお話をさせて戴き
 ます。
 私たちにとって「神さまとはどういう存
 在なのだろろう？」と皆さんは考えられたこ
 とはないでしょうか。
 近くの神社にお参りすると、由緒書があ
 つてその神社の歴史などが記されているの
 を目にした事は無いでしょうか。それを読
 むと神社によつて祭神（神社にお祀りして
 いる神さま）が違ふ事に気付くはずで
 例え、神話に登場する神さまであったり、
 歴史上の人物であったり、郷土の偉人であ
 ったり、また、山や岩、木など自然物に神
 々のお働きを感じ取り、それを崇めている
 場合もあります。
 ビルの屋上や都会のビルの谷間の小さな

祠（ほこら）。そして何よりも家庭では神棚をおまつりして、家庭の中に神々の存在を身近に感じて生活をしていきます。神まつりとは、祖先の恩に感謝し、そして日々「生かされている」ことへの感謝を捧げる祈りであり、日常生活の中に人が生活する上で、の道徳や礼儀礼節、畏敬と感謝の心をも育む祖先の知恵でもあります。

日本人の暮らしの中に生き続けている神棚まつりという伝統文化を、日本人の総氏神と称される神宮大麻と地域の守護神である氏神さまの奉斎を通じて、守り伝えていきたいものです。

夏祭り

七月十日、夏のお祭りを執り行いました。

ご存知とは思いますが、このお祭りは名越の祭り、人形の祓えとも言い、人形の紙を用いて正月から半年分のケガレを祓うお祭りです。

例年は薄い和紙を人形に切ってお配りしておりましたが、本年は普通紙に人の形を

印刷し、そこに住所・氏名・生年月日と願い事を書いて頂くように致しました。また、今までは書き込み方も人それぞれ違い、名前の無い物、一つに複数人が書き込まれた物などもありましたので、どう書けばよいのか解りやすいように、見本の紙を入れてみました。

もう一つ、今年から始めた事ですが、名越祭の祭典が終了した後、人形を持ってお参り下さった方々に、拝殿へ上がっていただきまして、数人ずつお祓いを執り行いました。初めての試みで、また事前に案内もなかったもので、気付かずにお祓いを受けた方もいらつしやいましたがお祓いを受けられた方も方には好評を頂きました様で、来年以降も続けたいと思っております。

境内整備事業

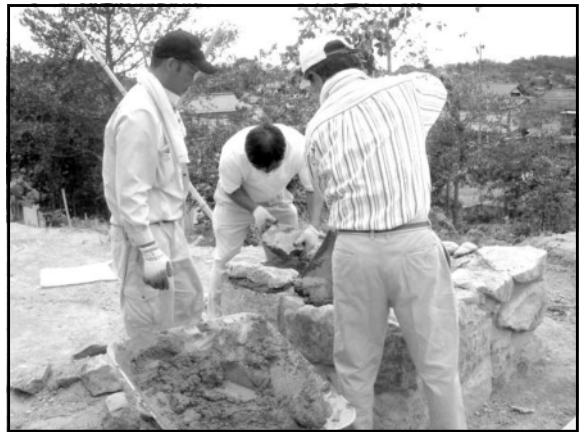
夏から秋に掛けて、いくつかの境内整備事業を行いましたので報告いたします。

昨年の台風以来荒れたままになってきた北の参道を整え、脇の車参道を拡張し、側

溝を設け、風をたよ。り一枚欠け、冠瓦を。ま。り。新。し。く。作。り。た。修。繕。を。し。た。ま。し。た。次。で。一。部。の。外。を。修。復。し。た。ま。し。た。本。殿。北。西。の。瑞。垣。の。修。復。に。一。部。の。銅。板。を。吹。き。直。し、破。損。を。し。て。替。え。ま。し。木。等。を。差。し。替。え。ま。し。御。崎。神。社。の。土。台。を。新。し。く。積。み。直。し、少。し。西。に。移。動。さ。せ、全。体。的。に。広。げ、ま。し。た。銅。板。を。破。損。を。直。し、ま。し。た。



修復された末社と広くなった本殿裏



御崎神社の土台を組む総代有志

秋祭り

昨年神輿の巡幸が無く祭典のみ秋祭りで行われたが、今年は十月九日に例年通り執り行われ、前日までとは打って変わって快晴に恵まれ、暖かい日差しの下、賑やかに総社地域を巡りました。また、木が無くなり境内から帰ってくる神輿がよく見える様になりました。石段を登り切った所がこの社報の表紙の写真です、白黒で解り難いですが神輿の後ろには少し雲のかかった那岐山が見えていました。

七五三詣りのご案内

七五三詣りは男子の五歳・三歳、女子の七歳・三歳の十一月十五日に神社にお詣りする人生儀礼です。七五三の祝いは江戸時代に武士の家で行われたのが始まりで、三歳の時に初めて髪を伸ばし始める『髪置きの祝い』、男子五歳に初めて袴を付けるの『袴着の祝い』、女子七歳の祝

い』が後に一般に広まったものです。今では儀式自体は省略化されて、お宮にお詣りして子供の成長を喜び、神の恵みに感謝し、更なるご加護を願う風習だけが残っております。総社宮では七五三詣りの御祈願を受け付けております。平日・休日は関係無くお受け付けますが、所用で不在の日もありますので、成るべく前もってお詣りの日時をお知らせ下さいますようお願い申し上げます。

今年七五三詣りのお子様

数え年

三歳の男子	女子	平成十五年生まれ
五歳の男子		平成十三年生まれ
七歳の女子		平成十一年生まれ

※ 満年齢でお詣り下さっても構いません

厄除け祈願のご案内

総社宮では常時厄除け祈願と長寿祝いをお受けしております。どうぞお参り下さい。

来年の厄年、並びに賀寿

		数え年		生年	
祝	祝	女性	男性	女性	男性
い	い	厄	厄	厄	厄
歳	歳	厄	厄	厄	厄
還暦	古希	小厄	小厄	小厄	小厄
六十一歳	七十七歳	三十七歳	三十三歳	六十一歳	四十二歳
昭和二十一年	昭和十二年	昭和十五年	昭和九年	昭和二十一年	昭和四十年
還暦	古希	大厄	大厄	大厄	大厄
六十一歳	七十七歳	三十三歳	三十三歳	四十三歳	四十二歳
昭和二十一年	昭和十二年	昭和九年	昭和九年	昭和二十一年	昭和四十年
還暦	古希	後厄	後厄	後厄	後厄
六十一歳	七十七歳	三十四歳	三十三歳	四十三歳	四十二歳
昭和二十一年	昭和十二年	昭和十年	昭和九年	昭和二十一年	昭和四十年
還暦	古希	小厄	小厄	小厄	小厄
六十一歳	七十七歳	三十七歳	三十三歳	六十一歳	四十二歳
昭和二十一年	昭和十二年	昭和十五年	昭和九年	昭和二十一年	昭和四十年
還暦	古希	卒寿	卒寿	卒寿	卒寿
六十一歳	七十七歳	九十歳	九十歳	九十歳	九十歳
昭和二十一年	昭和十二年	明治四十一年	明治四十一年	明治四十一年	明治四十一年